

2021 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金  
研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長  
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [藤井映佑]

学年・組・番号 [ 1 年 G 組 18 番 ]

研究課題： 私達は「購買の売れ残りを減らすにはどうすればいいか」というテーマを研究している。

(英文) We are researching the topic of "how to reduce unsold purchases."

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200~400 字で記入してください)

私達学生が日頃から利用している学校内の購買。食費や飲料、文房具など様々な商品が販売されており、多くの学生の生活を助けている。そんな購買にも売れ残ってしまった商品の廃棄が問題になっているだろう。SDGS や食糧廃棄が問題となっている今の世の中で身近な購買からこの問題に目をむけ、購買の排気量を減らす助けになろうと思いこの研究を始めた。まず、生協の方と連絡を取り、どの商品の売れ残りが目立ち今回の研究の対象となるかを定める。その後、その商品についてアンケート調査を行う。アンケートの内容は①購買の利用頻度②購買の利用目的③対象とした商品を知っているか④その商品を買ったことがあるか⑤その商品をどこで知ったか⑥その商品の感想 この6つである。アンケート結果をもとにその商品がなぜ売れ残ってしまうのかを考察し改善案を提案する。そしてその案を生協さんと話し合い実行し、その後の売れ行きを観察しながらさらに考察や案を出していく。

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200~400 字で記入してください)

今年度は新型コロナウイルスの影響によりオンライン授業となってしまったことで提案した案を実行することができず、不毛な結果となってしまった。しかし、生協さんとの話し合いやアンケートにより発見ことは多く、意味のある一年だった。まず生協さんとの話し合いで決めた商品は「MUJICO 惣菜パン」である。そして、アンケート結果によると購買の利用目的は食品ではなく飲料であるということがわかった。なぜ惣菜パンの売り上げ給が悪かったのかはこのことも原因の一つだろう。また、MUJICO 惣菜パン自体の知名度も低く、このことも原因の一つだとわかった。そこで改善案をいくつか提案した。その案を二年次に実行しようと思っている。具体的に提案した案は研究成果報告を見ていただきたい。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 藤井映佑

研究分担者 工藤秀太

鬼久保瑛士

担当教諭 本木弘梯

(受給額： 1,5000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します  
(次のページに続きます)

研究成果写真 :

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)

以上